

2nd RUN Meeting

in Kanazawa



地域医療の連携を深め、

High Performance CPR を極める

日時：2016年11月26日（土）11：00-16：30

（受付：10：30）

会場：金沢流通会館 金沢市問屋町2丁目61番地

参加費：5,400円（税込）

事前申込制：<http://laerdal.cvent.com/d/mvq235/4W>

※会場に駐車場はございますが、他の催事と重なり混雑が予想されます旨ご注意ください。

■■■ RUN とは、

蘇生に携わるすべての方を対象とし、教育、研究、臨床などのさまざまな観点から蘇生に関する、意見交換をしていただくことを目的としています。

蘇生の『今』に耳を傾け、その実践を通して蘇生率の向上に役立てて頂ければ幸いです。



【Program】

10:30-11:00 受付開始

11:00-12:00 **講演：**

金沢大学病院 救命センター長（石川県MC協議会会長）
稲葉英夫先生

12:00-13:00 Tea Break ※簡単な軽食をご用意しております。

13:00-14:00 **講演：Telephone CPR とシミュレーション**

奈良県立医科大学 救急医学教室 講師
福島英賢先生

14:00-15:00 **QCPR コンテスト**

15:00-16:00 **講演：CPRの質を上げるために何をすべきか？**

～戦略的な視点で見るCPR～

りんくう総合医療センター 大阪府泉州救命救急センター 医長
中尾彰太先生

【抄録】

Telephone CPR とシミュレーション

119番通報した際に消防通信司令員が行う口頭指導によって市民が行う心肺蘇生法（CPR）をTelephone CPR(TCPR)と呼ぶ。TCPRは院外心肺停止症例の低い蘇生率を改善する方法として注目されている。しかしこのTCPRに関する情報は音声の通話記録しか無く、その実態は不明な点が多い。このため有効なTCPRを検討する際にシミュレーションは不可欠である。シミュレーションを活用したTCPRの研究について、自施設での研究を含めて紹介する。

福島英賢先生

CPRの質を上げるために何をすべきか？～戦略的な視点で見るCPR～

CPRの質向上のためには、個人やチームのパフォーマンスの質を上げることが必要ですが、それは戦術的な考え方であり、それだけでは不十分で、その戦術を支える戦略的な考え方（明確な目標設定など）が必要であるということをお話させていただければと考えています。

中尾彰太先生



レールダルは、蘇生率の向上を目指し、救命の連鎖の強化のために「High Performance CPR」を提唱しています。